ひまわり通信

№５　平成２０年　９月　２日
新潟市立東青山小学校
校 長　斎 川　英 子
児童数　619人
℡(231)9611 fax(231)9623
http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/
http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/（携帯用）
E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

いのち輝く子ども

なかよしの石

５年前、「大地の芸術祭」に昔の石積みの技術を駆使して作品を創り上げるという企画に参加しました。中越地震、中越沖地震という２度の大きな地震に合ったその石積みはどうなったのか心配でした。そこで、この夏休みに作品や地元に現存する昔からの石積みを見てきました。

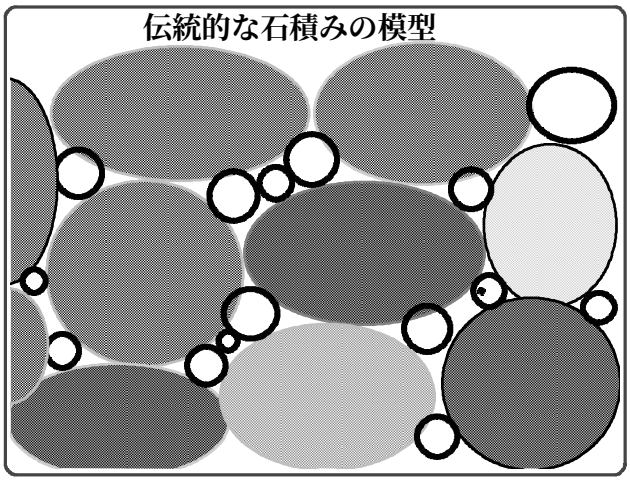
当時のままでした。崩れていませんでした。再び、昔の人の知恵に感動し、子どもたちに全校朝会で紹介することにしました。（以下、全校朝会の話から）

‥‥昔の人は、川の氾濫やがけ崩れに備えて、川から流れてくる自然の石を積み上げて家や道路、田畑を守りました。「石積み」と言って大勢の人の手によって造られました。今のようなコンクリートやセメントのない時代のことです。自然の石は丸くて、形も大きさもまちまちで、なかなか積むのは難しいです。しかも、丸い石と丸い石の間にすき間ができてしまいます。また、大きな石だけを積み上げてもすぐに崩れてしまうのだそうです。

そこで活躍するのが人間の手の中に入るくらいの小さめの石です。大きな石と大きな石の間にできるすき間に小さな石を置くことによって頑丈な石積みとなるのだそうです。そうして、一段一段、石の大きさや形を見ながら積んでいくと、地震が起きても壊れることのない丈夫な石積みが完成するのだそうです。

５年前、私はこの石積みを経験しました。大きな石を積むのは力持ちの男の人が受け持ち、私や小学生の子どもたちは、小さな石を集めて石積みの名人の指示に従って置く役でした。石積みの名人は、私たちに言いました。

伝統的な石積みの模型



「石積みには、小さな石が大切な役目をもっている。大きな石と石の間を取り持つ役目で人目に付かない所で力を発揮している。」

私たちは、そのお話を聞き、小さな石を「なかよしの石」と名付けました。大きな石同士がけんかをしないように、中に入って仲良くさせる役目の石です。また、大きな石のすき間を埋めて平らにする役目の石でもあります。

この「なかよしの石」は、私たちの心の中にもあります。例えば、友だちがけんかをしていたら、見て見ぬふりをせずに「止めようよ。仲良くしようよ。」と声を掛けることです。また、ひとりぼっちの友だちがいたら「どうしたの。一緒に遊ぼうよ。」と誘うことです。

みんなで「なかよしの石」の力を発揮して、大きな地震がきてもびくともしない東青山小学校にしましょう。‥‥

早速、下校時に、「ぼくは、今日、なかよしの石になったよ。」と、報告してくれる子どもがいました。

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってまいりました。変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

熱い夏の大きな活躍　～ 誇り高く　堂々と ～

新潟市小学校　陸上競技記録会入賞者　（西地区　７月２９日実施）

５年	男子　１００M	４位	鹿野　幸也（１４秒７）
	男子１５００M	５位	田辺　大智（５分２４秒２２）
	男子８０Mﾊｰﾄﾞﾙ	９位	宮路　拓生（１５秒６５）
	女子８０Mﾊｰﾄﾞﾙ	６位	本間　　司（３ｍ７５㎝）
	〃	７位	井上　愛恵（１６秒００）
	男子走り幅跳び	10位	永野　鈴佳（１６秒２７）
	男子400Mリレー	４位	田井博之、山倉史靖、鹿野幸也、田辺大智（１分０秒１９）
６年	男子　１００M	８位	神保　貴史（１３秒９９）
	女子　　〃	10位	阿部　茉友（１５秒０３）
	男子走り幅跳び	６位	伊藤　慎悟（４ｍ０７㎝）
	女子　　〃	３位	相澤さゆり（３ｍ９３㎝）
	男子走り高跳び	７位	大矢　健太（１３０㎝）
	女子　　〃	２位	佐藤はるか（１２６㎝）
	男子ソフトボール投げ	12位	齋藤　駿介（５２ｍ４６㎝）

新潟市小学校　水泳競技記録会入賞者　（８月５日実施）

５年	女子１００M自由形	１位	武藤梨日子（１分１３秒１１）
	男子１００M平泳ぎ	３位	篠田　幹太（１分３１秒８４）
	女子　５０M自由形	２位	武藤梨日子（３２秒３０）
	男子　５０M平泳ぎ	３位	篠田　幹太（４３秒０７）
６年	男子１００M背泳ぎ	１位	渡邉　篤希（１分１４秒４７）
	女子１００M背泳ぎ	６位	金山奈々子（１分２８秒２６）
	男子１００M自由形	２位	古畑　裕章（１分１３秒０７）
	女子200M個人メドレー	５位	佐藤　璃緒（２分５５秒３２）
	男子　５０M背泳ぎ	２位	渡邉　篤希（３６秒３０）
男子２００Mメドレーリレー		１位	渡邉篤希（背）、篠田幹太（平）、
女子２００Mメドレーリレー			古畑裕章（バタ）、堀越拓光（自）　（２分２９秒４６）
		４位	金山奈々子（背）、佐藤璃緒（平）、
男子２００Mリレー			武藤梨日子（バタ）、保苅美音（自）（２分３９秒９４）
		２位	渡邉篤希、篠田幹太、堀越拓光、古畑裕章
女子２００Mリレー			（２分１３秒０２）
		４位	佐藤璃緒、金山奈々子、保苅美音、武藤梨日子
			（２分２２秒８５）

H20年度　全国学力・学習状況調査の結果

今年度４月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。

東青山小学校の結果は、国語 A、国語 B、算数 A、算数 B 問題のすべてで、全国及び県、市の平均正答率を上回っていました。しかしながら、知識・技能を活用して問題解決を行う B 問題は、基本的な知識を問う A 問題に比べて低い結果でした。また、マスコミ等で話題に上っている「１５０㎠を選ぶ問題」は全国の解答状況と同じ傾向にありました。１５０㎠は年賀はがき（縦１５㎝、横１０㎝）であると選択した子どもは５人に１人という結果です。

今後、日常生活と結びつけて、量感や実感を伴った理解に導いていくことが大切であると考えます。